



○岡津小学校地域防災拠点運営委員訓練が行われました。

11月16日（日）岡津小学校地域防災拠点運営委員訓練が行われました。地域防災拠点とは、地域における防災減災の中心的な役割を担う存在であり、大震災が発生した際に、①避難所、②物資情報のターミナル、③救助救難の拠点の役割、の3つの機能を担う施設です。防災拠点は、1995年の阪神淡路震災を教訓に、横浜市が市内の小中学校に整備したもので、現在、市内459校、泉区内には23校が指定されています。

また、防災拠点の運営については、管轄の地域住民、学校関係者、行政の担当者によって構成された「拠点運営委員会」が行う事になっています。今回の訓練は、この運営委員会のメンバーに向けたもので、震災直後に防災拠点を開設する工程を体験する内容でした。参加者は管轄の10自治会町内会の運営委員、岡津小職員、行政関係者、及び地域関連団体関係者など70名で、第三町内会からは5名の運営委員が参加、避難者受入準備、避難者受入、避難所の大型設備の体験、理解などを行いました。

1月には、各自治会町内会班長向けの一般訓練が予定されています。班長の皆さんは、是非ともご参加下さい。



避難者受入シュミレーション(体育館前)

○まほろば再整備に向けた「小学生とのワークショップ」が行われました。

阿久和川沿いの「まほろば地区」は、国交省の河川整備の推進から30年以上が経過、随所で老朽化が進み、荒廃が目立つようになりました。横浜市としても、こうした現状を踏まえ、まほろば地区の再整備に取り組むことになりました。今回、その再整備に向けたプラン作りの一環として、地元の小学生に、実際に阿久和川に入り、多様な生物たちに触れ、その体験を通して、将来どんな阿久和川にしたいか考えてもらう事になりました。

ワークショップ当日の10月29日は、担当に選ばれた岡津小4年の生徒たちが、阿久和川の概要やまほろば整備の歴史を学習してから、集いのまほろばに移動、現地調査を行いました。

古（いにしえ）のまほろば、集いのまほろば、と云う2つの親水エリアに隣接する第三町内会としては、子供たちからのどのような意見に基づき、今後のどのような水辺環境が整備されるのか、楽しみにしたいと思います



川に入って、魚やエビ、昆虫類を採取する岡小生徒

○地域及び行政からのお知らせ

*ひきこもり専用ダイヤルの開設

ひきこもりでお悩みご本人やその家族からの相談を受ける相談専門ダイヤルが開設されています。対象の方は、是非とも一度、ご相談下さい。

- ▶受付ダイヤル 045-752-8400
- ▶対象：市内在住のひきこもりでお悩みのご本人及びその家族。
- ▶受付日：月～金曜日（祝日、年末年始は除く）
- ▶受付時間：9時～正午、13時～17時
- ▶問合せ：横浜市健康福祉局ひきこもり支援課
電話 045-752-8463 FAX 045-664-0403

*民生児童委員一斉改選の結果が決まりました。

本年、3年に一度の民生児童委員の一斉改選が行われ10月20日の市民生委員推薦会を経て、委員体制が決まりました。尚、岡津第三町内会の民生委員は、北島良三さんが再任されました。

民生児童委員充足率

	定数	推薦数	充足率
横浜市	4,228	3,712	88%
泉区	169	152	90%
中川地区	19	18	95%

民生委員とは、地域の高齢者、障害のある方、生活に不安を抱く方達を見守り、必要に応じて行政や関連機関へのつなぎ役となる特別職の地方公務員です。

（地方公務員法第3条3項）